

第37号
肥田町
郷づくり委員会
H17.4.8発行

平成17年度

ご入学おめでとう

うれしい ピカピカの一年生
大きくなったら私の夢は。私の大切なものは。

ご挨拶

自治会長 鵜野俊雄

陽春の候、町民の皆様には益々
ご健勝のこととお慶び申し上げ
ます。

この度、はからずも町民皆様
のご推挙を賜り伝統ある肥田町
の自治会長という重責をお預か
りする事となりました。元より
そのような器ではなく、無力な
私が果たして皆さんのご期待に
沿うことが出来るのか全く自信
がございませんが、役員各位、町
民皆様のご指導ご協力をいただき
ながら精一杯努めさせていた
だきますのでどうぞよろしくお
願い申し上げます。

昨年度は、実に上陸数十個を
数え記録的であった台風の襲来、
新潟中越大地震、加えてスマート
ラ沖地震の大津波による多くの
犠牲者を出した大災害等、自然
災害の脅威は、私達の想像を絶
するものでした。また毎日のよ
うに新聞、テレビなどで報じら
れている強盗、殺人の凶悪事件、
少年の非行問題など、何時何處
で、何が起こるか分からぬ恐
ろしい世の中になりつつあります。

幸いにして我々の地域ではこ
れといった事件や被害も無く、
平穏で幸せな毎日を過ごせること
とは大変嬉しく思う次第です。

「忘れたころにやつて来る」特
に地震、台風、あつてはならない
地震、台風、あつてはならない

で支え合う、ふれあいと、温もり
のある肥田町の発展と、皆様の
ご多幸を念じ上げご挨拶とさせ
ていただきます。



平成17年度 自治会役員

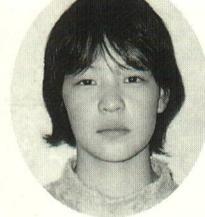
水利防除部長	成宮 敏和	体育部長	青木 裕樹	文教部長	藤野 理真理	環境部長	藤野 藤野	福祉部長	成宮 一成	副組合長	成宮 宗純	改良組合長	大村 吉継	副組合長	森田 喜久雄	副自治会長	鵜野 俊雄	自治会長	
--------	-------	------	-------	------	--------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	--------	-------	-------	------	--

ご進学祝 おめでとう

中学1年生

中学校では、新しいお友達も増えて、
今までとは、ひとつ広くなった学びの場です。
しっかりと自分を創り、夢をたぐりよせましょう。

青木 優美さん
(お父さん 洋さん)



成宮 愛理さん
(お父さん 敏和さん)



薩摩あかりさん
(お父さん 卓志さん)



筒井 隆稀さん
お父さん…隆智さん
お母さん…恵子さん



松村 幸大さん
お父さん…庄之丞さん
お母さん…幸恵さん



薩摩 陸さん
お父さん…卓志さん
お母さん…はるみさん



宮川 聖基さん
お父さん…誠さん
お母さん…幸代さん



伊関 伎(たくみ)さん
お父さん…正人さん
お母さん…美弥子さん



藤野 尋也さん
お父さん…人美さん
お母さん…康江さん

お巡りさんになりたいです。悪い人をやっつけて、困っている人をたすけたいです。ほくの好きなことは、ひもごまをまわすことです。もっとうまくなりたいな。

ほくは、野球選手の速いボールが投げられるピッチャーになりたいです。今、大好きなものはポケットモンスターのリザードンです。

みんなの元気いっぱいの成長を祈ってます



聖泉大學吹奏樂部が再來演

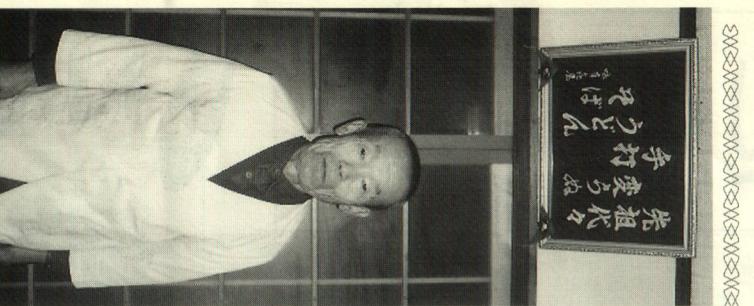
平成17年度福寿会新入会員歓迎の集い

3月6日の福寿会年度総会に新しく9名様の新入会を歓迎して、昨春の大好評を受けて今春も聖泉大學の吹奏楽部の皆さんに、色々とボランティア活動でお忙しい中を割いてお願いしました。会場は演奏と合唱で元気いっぱい、春もいっぱいと素晴らしい交歓のひとときでした。聖泉大學の皆さんのご協力に厚く御礼申し上げます。



故郷甲子園へ 肥田町応援団

この度、第77回春の選抜高校野球に県代表としてハ幡商業高校が
出場。地元肥田町からは将来のエースと期待されている成宮翔磨君
の出陣を祝してハ幡商業の先輩の方々が企画、肥田町からバスを仕
立てての応援参加。白熱の投手戦を残念ながら制することは出来ま
せんでしたが、早くも夏の舞台へ翔磨君も上田投手をサポートしてリ
ベンジを図りたいと燃えています。ご期待を。



その昔、創業者の灘野家一代表平さん(天保8年生)は子供がなく、能登川町佐野より養女として「おたみさん」と名づけられました。おたみさんは義父の利平さんと結婚し、32歳で未亡人となられたが、その後、縁が生まれ勤勉な人との良き夫婦となりました。おたみさんは「さん」を表しますと親しまれ、独自の手打ちうどんの味が評判となりました。また、おたみさんのお嫁さんは「さん」といふ意味で、肥田町の人気として五代目忠三さん(昭和2年生)が現れています。おたみさんは87歳の長寿まで勤められ、その後も四代目甚太郎さん(昭和3年生)、ますえさん夫婦と勤勉実直な後継者にも恵まれて今日にあります。おたみさんは、おじいちゃんの口から口への広がりで「肥田のうどん」といわれています。

現在も県下の広い範囲で買ひ求めに来られる力や立ち寄りのお客さんと肥田町名物として嬉しい人気が続いています。

第三回 話題の本をめぐる「文庫」の現状と問題



お元気ですか

幸之 滉(良田, 肥田野担当)

暖かくなり桜の花の便りも聞かれ

好季節となつてまいりました。皆様にはお元気でお暮らして下さい。昨年12月より民生児童委員の委嘱を受け、はや4ヶ月が過ぎようとしています。基本となる地域の方々のお名前、家族構成がまだ把握できまじめにお役に立てないものとしまして一一杯です。地域の福祉の相談相手となり、行政とのパイプとして多くの人に声かけを行ふ、状況に合つた支援が受けたいただけていいか等、微力です。活動を続けたいと思つています。今は介護支援の必要な元気な方々には、益々のご活躍をお願い致し健やかにお過ごしいただけます。

昔から梅の一生を人生に例えた歌があります
梅ぼしへは健康食品とも言われていますが、「無
てはならぬこの私」を自覚し、誇りを持つて有
感を老後の生き甲斐にしていただければとく

梅千しのうのうは
二月三月花ざかり　驚ないた春の日の
樂しい時も夢の中
五月六月実がなれば
枝からふるい落とされて
近所の町へ持ち出され
何升何合の計り売り
もどより酸っぱいこのからだ
塩に漬かってからくなり
紫蘇に染まって赤くなり
七月八月暑い頃　三日三晩の土用干し
思えば辛いことばかり
それも世のため人のため
しわはよつても若い氣で
小さい君らの仲間入り
運動会もついていく
まして戦いのその時は
無くてはならぬこの私

それも世のため人のため
しわはよつても若い気で
小さい君らの仲間入り
運動会もついていく
まして戦いのその時は
無くてはならぬこの私